

わ

分かる？

【発達障害の認知特性の例】

ト ト ト ト

これが読めますか？ 黒色部分に目がいくと、なかなか読めないものです。

黒色部分を見るべき対象の「囟」でなく、背景となる「地」に変え、一方の空白の部分「〇」にすると、「〇〇〇」というカタカナの3文字が浮かび上がってきます。

発達障害の生徒の中には、このような視覚情報の伝達・処理が脳内でスムーズにできないため、読めるまでに時間がかかる生徒がいます。